

主な仕様

項目	小型真空反応容器
使用範囲	0.14kPa～大気圧まで (絶対圧表現)
リーク量	5.14×10^{-4} Pa・m ³ /sec 以下
容量	2.0L
重量	3.0kg

構成部品

	小型真空反応容器
容器	SUS304
蓋	SUS304
レバーバンド	SUS304 (小型反応容器用)
Oーリング	シリコンゴム (G-150)

梱包内容

本体一式、取扱説明書

オプション

Oーリング	テフロン被膜、バイトン、EPT、CR、NBR
-------	------------------------

お問い合わせ先

小型反応容器の故障、あるいは異常と思われる点や取扱に関する疑問等、何かお気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

その他弊社製品に関するお問い合わせも、下記までお願いします。

アズワン株式会社

カスタマー相談センター (ユーザー専用ダイヤル)

TEL 0120-700-875

FAX 0120-700-763

E-MAILアドレス q@so.as-1.co.jp

取扱説明書

小型真空反応容器

この度は小型反応容器をご利用いただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、小型反応容器を正しく、効果的にご使用いただくための説明書です。

小型反応容器をご使用いただく前に必ずこの取扱説明書を読み、内容を十分に理解された上でご使用下さいますようお願いいたします。

*お読みになった後は、ご使用時にすぐご覧になれるところに保管してください。

*この取扱説明書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

アズワン株式会社

ご使用前に

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

下記の表示区分は表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。必ずお読みください。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

小型反応容器の取扱いについて

⚠ 危険

- *爆発物は、絶対に入れないでください。
- *加熱や化学反応で蒸気が発生する場合及び蒸気を受ける用途には、絶対に使用しないでください。

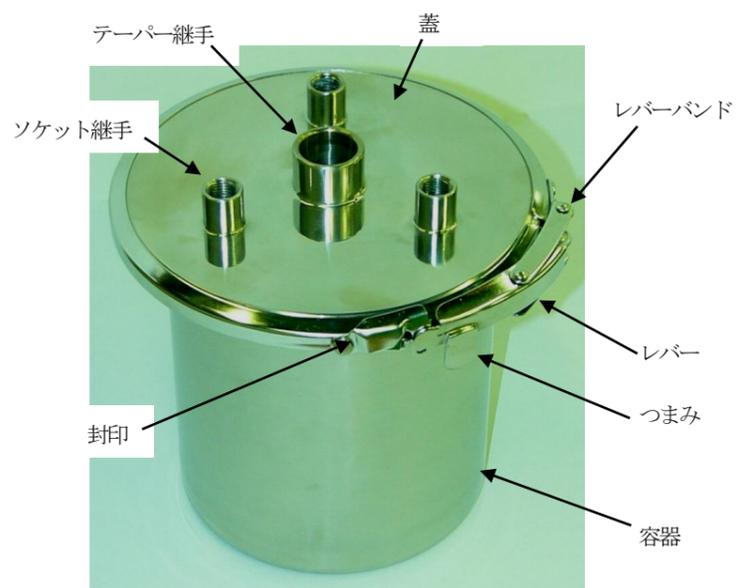
⚠ 警告

- *レバーバンドは必ずロックしてください。

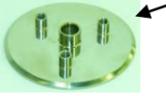
⚠ 注意

- *レバーバンドを開閉する際には、取り扱いにご注意ください。
特に、バンドを締める際には、フック等に指を挟まないように注意してください。
また、バンドを開く際にはレバーの跳ね返りに注意してください。
- *加圧はしないでください。
- *パッキンの部分はゴミ等が附着しないようにしてください。その部分に異物があるとパッキンを損傷させて、内容物の漏れ及びリーク等が発生します。

小型真空反応容器



容器の分解

- 1) レバーバンドの封印を上を外します。
 封印
- 2) レバーバンドのつまみをゆっくりと手前に引きバンドを緩めます。
 レバー
- 3) バンドの径をさらに大きく広げ、レバーバンドを蓋より外します。
- 4) レバーバンドのレバーを元に戻します。
 レバーバンド
- 5) 蓋を容器から外します。
 蓋
 Oリング
容器
- 6) Oリングを容器溝から外します。
注意 Oリングを鋭利な棒などで外しますと傷がつき、もれの原因となります。
Oリングの汚れは良く拭取ってください。

容器の組立

- 1) Oリングを容器溝に嵌め込みます。
- 2) 蓋を容器に合せて被せます。
- 3) レバーバンドのレバーによりバンドの径を大きく広げます。
- 4) 蓋と容器に合せてレバーバンドを取付けます。
- 5) ゆっくりとレバーバンドを締めます。
- 6) レバーバンドの封印をレバーの穴に差込みます。

継手等の取付け

- ・蓋にはR p 1 / 4のソケットが3個付いています。
- ・継手類を取付ける時にはR 1 / 4の継手にシールテープを巻き付け、締め込みます。

テーパー継手

- ・適合攪拌シールサイズは24 / 32です。

点検

以下の内容で異常を発見した場合には速やかに安全に停止させ、使用を中止してください。

- 1) 使用前
 - a) 小型反応容器各部の腐食や亀裂及び損傷、変形がないことを確認します。
特に、Oリング、Oリング溝、レバーバンド等について確認します。
- 2) 使用時
 - a) 減圧時における小型反応容器各部の漏洩の有無を漏洩音等により確認します。